

平成30年度病虫害発生予察注意報第3号

平成30年6月1日
愛 知 県

作物名：ブドウ
病虫害名：べと病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 やや早い
- 3 発生程度 多い
- 4 注意報発令の根拠

- (1) 5月下旬に行った巡回調査において、発病葉率が0.33%（平年0.02%、前年0.0%）で、過去10年と比較して最も多く、発生時期がやや早い。
- (2) 5月31日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の降水量は平年並か多いと予想されるため、発病に好適な条件が続く。

- 5 防除上注意すべき事項

- (1) 発病葉（図1）、発病果（図2）は伝染源となるので、園外に持ち出す等、適切に処分する。
- (2) 発病を認めたら、表に示す農薬などにより早急に防除を徹底する。
- (3) 連続した降雨により感染が急速に拡大するので、気象予報に注意し予防散布に努める。FRACコードが同じ薬剤を連続して使用することは避ける。
- (4) 愛知県において、平成23年にQoI剤（FRACコード：11）の耐性菌の発生を確認しているため、本病に対して使用することは控える。
- (5) 農薬によっては、袋かけ前の散布で果粉の溶脱や果実の汚れ等を生じることがあるので注意する。

- 6 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室
電話：0561-62-0085（内線471）



図1 葉裏の症状



図2 幼果の症状

表 ぶどうべと病に対する主な防除薬剤

農薬名	使用時期	希釈倍数	本剤の使用回数	成分1	FRAC コード	成分2	FRAC コード
ICボルドー48Q	-	25～50倍	-	銅	M01		
ジマンダイセン/ペン コゼブ水和剤	収穫45日前まで	1000倍	2回以内	マンゼブ	M03		
ベトファイター顆粒水 和剤	収穫30日前まで	2000～3000倍	3回以内	シモキサニル	27	ベンチアバリカル ブイソプロピル	40
ジャストフィットフロ アブル	収穫30日前まで	5000倍	3回以内	フルオピコリド	43	ベンチアバリカル ブイソプロピル	40
ランマンフロアブル	収穫14日前まで	1000～2000倍	3回以内	シアゾファミド	21		
ライメイフロアブル	収穫14日前まで	3000～4000倍	3回以内	アミスルプロム	21		
ゾーベック エニケー ド	収穫14日前まで	5000倍	2回以内	オキサチアピブ ロリン	49		
レーバスフロアブル	収穫7日前まで	2000～3000倍	3回以内	マンジプロバミ ド	40		
エトフィンフロアブル	収穫7日前まで	1000倍	4回以内	エタボキサム	22		

成分ごとの総使用回数に注意する。

FRAC コードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/lab0/jfrac/pdf/code_pdf01.pdfを参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。